

関係機関・団体・課・室長 様

兵庫県農林水産部長

令和6年度 兵庫県農業気象技術情報第2号（6月情報）について（送付）

このことについて、下記のとおり情報を作成しましたのでお送りします。

記

1 気象経過・予報から想定される栽培上の留意点と対応策

作物	地域	栽培上の留意点	対応策
水稲	県北	1 生育 移植後、気温の高低差が大きいものの、本田での生育は順調である。 中干しまでは浅水管理又は間断灌水を行い、中干しは遅れないようにする。 (1株当たりの分けつが15~17本になれば中干しを始める。)	
	県南	1 生育 現在、苗の生育は順調である。 田植え後は活着までやや深水管理し、その後、中干しまでは浅水管理又は間断灌水を行う。 除草剤処理期間中の深水はやむを得ないが、深水にすると葉が伸びすぎるため、活着後の深水には十分注意する。	
	全県共通	1 病害虫 イネ縞葉枯病の発生が続いている地域では、同病の拡大を抑えるため、同病の媒介虫であるヒメトビウンカを、箱粒剤施用等により的確に予防する。 スクミリングガイが発生している地域では、移植前後の対策を行う。詳細は「病害虫・雑草防除指導指針」の参考資料「スクミリングガイの生態と防除対策」(https://web.pref.hyogo.lg.jp/nk09/documents/shishinsukumiringogai.pdf)を参照する。葉いもちは、移植後の早期発見に努め、「病害虫・雑草防除指導指針」を参考に適正に防除する。補植用苗は、葉いもちの発生源になるので、ほ場から早めに持ち出して処分する。兵庫県病害虫防除所ホームページにて公開されているBLASTAM情報(https://bojo.hyogo-nourinsuisangc.jp/blastam)を参考に葉いもちの初発に注意する。	
麦	全県共通	1 生育 小麦の成熟期は、平年並~やや早まると予想されるので、適期収穫に努める。 出穂期はシロガネコムギで平年より1日早く、開花期も早まったことから、成熟期も早まると考えられる。 2 病害虫 現在の発生状況は、うどんこ病は少なく、さび病類は平年並の発生であるが、赤かび病は広域に発生していて、ほ場によっては多発している。成熟期にこれらの病害について、ほ場巡回調査を行い、発生状況を確認しておく。	1 生育 ほ場の排水を徹底する。 子実水分25%を目安に適期収穫に努める。 収穫作業をあまりに急ぎすぎて、コンバインの ^{こぎ} 扱 ^{どろ} 胴回転数を上げすぎないようにする。 湿害による枯熟れ、倒伏等があれば、刈分けを行う。 2 病害虫 赤かび病の拡大、カビ毒粒の混入を防ぐため、適期収穫に努めるとともに、見つかった場合は、収穫期の刈分け指示や荷受け時の仕分けなどを行う。 荷受け時の赤色粒で粒自体に光沢があり、表面がなめらかなもの(シワがない)は、アントシアン粒であることが多いのでよく確認する。 詳細は「稲・麦・大豆作等指導指針」を参照する。

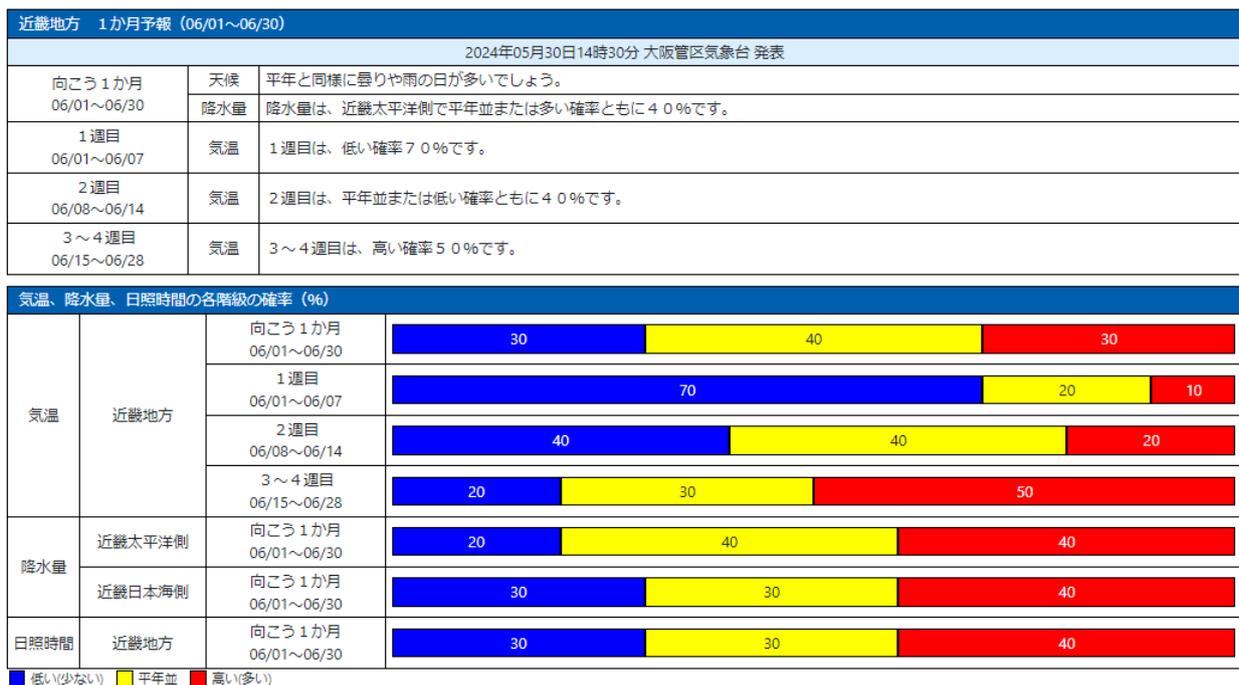
大豆	全 県 共 通	<p>1 栽培管理 ほ場条件が良い時に播種できるよう準備する。</p> <p>2 病害虫 健全種子を播種する。</p>	<p>1 栽培管理 額縁明きよや排水溝を必ず設置し、排水対策を徹底する。 ほ場条件が良い時に適期播種を行う。</p> <p>2 病害虫 排水対策をしっかりと実施する。 播種前後の薬剤処理により、アブラムシ類等の防除を図る。</p>										
キ ャ ベ ツ	全 県 共 通	<p>1 栽培管理 (1) 降雨によるほ場の滞水を避ける。 (2) 降雨がなく土壤の乾燥が続く場合、球内にチップバーンを生じることがあるので注意する。 (3) 高温期は降雨等により球が急激に肥大し、裂球しやすい。</p> <p>2 病害虫 フェロモントラップ調査では、コナガはやや少ない誘殺数で推移しているが、シロイチモジヨトウは平年並、ハスモンヨトウ、オオタバコガはやや多い。特にオオタバコガでは例年に見られない時期に明確な誘殺ピークが認められているため、今後の定着が懸念される。6月中旬以降、気温が高く、定期的な降雨があることが予想されているため、病害虫の発生に注意する。</p>	<p>1 栽培管理 (1) 畝間の均平化や落水口への確実な連結により排水性を高める。 (2) 10日以上降雨がない場合、畝間灌水等を行う。 作土が浅いほ場では特に土壤の乾燥に注意する。 (3) 球の締まり具合を確認しつつ順次収穫し、とり遅れないようにする。</p> <p>2 病害虫 「病害虫・雑草防除指導指針」を参考に適正に防除する。</p>										
果 樹	全 県 共 通	<p>1 生育 下表のとおり、樹種により差がある。</p> <p>樹種別の生育状況</p> <table border="1" data-bbox="344 1469 1414 1738"> <tr> <td>ブドウ※1</td> <td>開花期は昨年と同程度で、平年に比べやや早い。</td> </tr> <tr> <td>クリ※1</td> <td>開花期は昨年と同程度で、平年に比べ4日早い。</td> </tr> <tr> <td>ナシ※2</td> <td>開花期は昨年より4日遅く、平年に比べ1日早い。</td> </tr> <tr> <td>イチジク※1</td> <td>発芽は平年より7日早く、展葉は平年に比べ4日早い。</td> </tr> <tr> <td>温州ミカン※3</td> <td>開花期は昨年より5日早く、平年に比べて6日早い。</td> </tr> </table> <p>※1 加西市 ※2 朝来市 ※3 南あわじ市</p>	ブドウ※1	開花期は昨年と同程度で、平年に比べやや早い。	クリ※1	開花期は昨年と同程度で、平年に比べ4日早い。	ナシ※2	開花期は昨年より4日遅く、平年に比べ1日早い。	イチジク※1	発芽は平年より7日早く、展葉は平年に比べ4日早い。	温州ミカン※3	開花期は昨年より5日早く、平年に比べて6日早い。	<p>1 生育 生育状況に応じた栽培管理を行う。 生育のバラツキが大きい場合は、新梢管理や結実管理で調節する。 結実不良の樹は、摘果時に着果量確保に努める。</p>
ブドウ※1	開花期は昨年と同程度で、平年に比べやや早い。												
クリ※1	開花期は昨年と同程度で、平年に比べ4日早い。												
ナシ※2	開花期は昨年より4日遅く、平年に比べ1日早い。												
イチジク※1	発芽は平年より7日早く、展葉は平年に比べ4日早い。												
温州ミカン※3	開花期は昨年より5日早く、平年に比べて6日早い。												

	<p>2 栽培管理</p> <p>(1) 樹勢や生育状況に応じた着果管理に留意する。</p> <p>(2) 果実肥大や着色を促すための栽培および土壌管理に留意する。</p> <p>(3) ハウス栽培は、昼間の温度が高温になりすぎないように留意する。</p> <p>(4) ナシ（北但地区）では受精不良や降雹の影響に注意した結実管理を行う。</p>	<p>2 栽培管理</p> <p>(1) 樹勢が弱い場合は、着果量を減らす。</p> <p>(2) 土壌が乾燥する場合は灌水を行う。特に苗木や幼木は、生育を促すため乾燥防止に努める。</p> <p>(3) 換気により温度上昇を防ぐ。</p> <p>(4) 変形果や障害果を見極めた摘果作業と、樹勢に応じた着果量の確保を行う。</p>
	<p>3 病害虫</p> <p>現時点では、ブドウでは目立った病害の発生は認められていないが、ナシでは黒斑病の発生が多くなりつつある。6月中旬以降、気温が高く、定期的な降雨があることが予想されている。これからの病害虫の発生に注意する。</p> <p>果樹カメムシ類は、フェロモントラップ調査では例年より約2週間早い4月末に多数の個体が誘殺されて、以降、多発傾向が続いている。今後活動性が高くなるため、果樹園での発生に注意する。</p>	<p>3 病害虫</p> <p>最新の病害虫発生予報を確認し、発生が懸念される病害虫の発生動向に注意し、適切な防除に努める。薬剤については「病害虫・雑草防除指導指針」を参考に適正に防除する。ナシ黒斑病は袋掛け前と梅雨期の防除を徹底する。</p> <p>果樹カメムシ類の防除についての詳細は令和6年5月2日発表の「令和6年度病害虫発生予察注意報第1号」(https://bojo.hyogo-nourinsuisangc.jp/archives/1072)を参考にする。</p>

◎水稲・麦・大豆の栽培については、「稲・麦・大豆作等指導指針」を、防除については「病害虫発生予察情報」及び「病害虫・雑草防除指導指針」を参考にすること。
 ※本情報は、5月29日時点のデータを元に作成しています。

2 気象予報

(1) 近畿地方の向こう1か月予報



(2) 近畿地方の向こう3か月予報

近畿地方 3か月予報 (06月~08月)		
2024年05月21日14時00分 大阪管区気象台 発表		
06月~08月	気温	平均気温は、高い確率60%です。
	降水量	降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。
06月	天候	近畿日本海側では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。近畿太平洋側では、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。
	気温	気温は、高い確率50%です。
07月	天候	期間の前半は、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。期間の後半は、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
	気温	気温は、高い確率50%です。
08月	天候	平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
	気温	気温は、高い確率50%です。



※ 気温・降水量・日照時間は低い・平年並・高い(少ない・平年並・多い)の3階級で予報されます。階級の幅は、平年値の作成期間(1991~2020年)における各階級の出現率が33%となるように決めてあります。

ホームページアドレス

- 「兵庫県病害虫防除所(病害虫発生予察情報)」
<http://bojo.hyogo-nourinsuisangc.jp/>
- 「病害虫・雑草防除指導指針」
<http://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/hyogo>
- 「稲・麦・大豆作等指導指針」
http://web.pref.hyogo.lg.jp/nk12/af11_000000107.html
- 「小麦赤かび病を適期に防除するための開花期予測システム」
http://www.naro.affrc.go.jp/project/results/laboratory/karc/2011/180a0_01_33.html

問い合わせ先

本情報に関すること

- 兵庫県農林水産部農産園芸課

TEL (078)341-7711(代表)

農産班:主作・機械担当 内線 4074

農産班:野菜担当 内線 4054

花き果樹班 内線 4066

技術内容に関すること

- 県立農林水産技術総合センター

企画調整・経営支援部

TEL (0790)47-2435

農業技術センター 農産園芸部

TEL (0790)47-2410

農業技術センター 病害虫部

TEL (0790)47-1222

北部農業技術センター 農業・加工流通部

TEL (079)674-1230

淡路農業技術センター 農業部

TEL (0799)42-4880

兵庫県ホームページでも本情報を公開しています。

URL : http://web.pref.hyogo.lg.jp/af11/af11_000000097.html

(兵庫県トップページ>分類から探す>食・農林水産>農業>農作物>農業気象技術情報)